

新年のご挨拶

日本早期認知症学会の皆様、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、私の掲げた①民主的な役員選挙制度の制定と実施、②認知症予防テキストブックの発刊、③新井平伊先生（順天堂大学）の顧問就任、④日本神経精神医学会との大会の同日・同会場開催の推進、⑤日本早期認知症学会誌の充実などの重要事業を理事各位のご協力を得て完成させたことを御報告申し上げます。これらは、会員の皆様がより活発に学会に参画しうる基盤になると考えております。また、これらを私と一体となって推進していただいた金山重明副理事長は定年を迎え、名誉理事に就任していただいたことも御報告申し上げます。

今年は、厚生労働省が平成 27 年 1 月に掲げた認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）が本格的に動き出します。このなかで、認知症カフェや認知症初期集中支援チーム構想、認知症の予防法、診断法、治療法、リハビリテーションモデル、介護モデル等の研究開発など、日本早期認知症学会の守備範囲に合致するテーマが目白押しです。ようやく、我々が目指してきたミッションが注目されてきたわけです。会員の皆様が日頃から磨いてきた知見を大いに活用され、それぞれの立場から新しい社会システム作りにチャレンジしていただきたいと存じます。その過程で、本学会の大会や学会誌、専門別研究会制度などを技術の切磋琢磨する場として御利用下さい。また、昨年刊行した認知症予防テキストブックは、これらに大いに役立つと考えております。

皆様の一層の発展とご健康を祈念して、新年の御挨拶といたします。

平成 28 年元旦
日本早期認知症学会理事長
志村 孚城